

柔道しずおか

平成 28 年 3 月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒431-3114 浜松市東区積志町 1503 伊藤武治
TEL 090-1473-4136 FAX 053-589-3000
<http://www.geocities.jp/shizuokajudo/>

【巻頭言】

人間教育としての柔道指導

静岡県柔道協会副会長 八段 田中秀幸



好きだったのでしよう。今も
県役員として引き続き活動の
場を与えられ、大会や会議な
どで皆さんとお会いできるの
が楽しみです。

私の柔道指導のモットー
は「人間教育・人間形成」で
す。父が小学校教員だったこ
ともあり、少年の頃は「教員
になれたら良いな」と思って
いました。運よく国立の教員
養成の体育学部を有する大学
に入学でき、将来は教員とし
て生きていこうと決めました。
学生時代四年間は強くなりた
い一心で柔道に汗を流してい
ました。四年生も卒業間近に
なった頃、ゼミ研究室の大瀧
先生から「静岡大学で定年と
なる大塚先生の後任として赴
任しないか」との話があり、
これが静岡へ赴任する始まり
でした。

教員は他の職業人と比べ比
較的自由な時間があり、特に
大学人はその傾向が強いと思
います。その大学人である私

がやらずして誰がやるのか、
と思い特に部活顧問・社会体
育に重点を置き、私から柔道
を取ってしまったら何も残ら
ない、の気持ちで頑張りまし
た。四十代後半から形に関心
を持ち、講道館夏期講習会へ
出向き一週間教えを受けまし
た。やればやるほど奥が深く、
生涯柔道としてこれからは形
がクローズアップされる時代
が来るだろうと考えて精進し
ました。七種類の形があり、
それらを一つ一つ忘れないよ
うに身につけておくのは大変
な努力を要します。今は競技
化され全国大会、世界大会ま
で開催されるようになり、本
協会では「全国「形」競技会
へ出場するための対策」をそ
の重点目標の一つに掲げ、選
手強化に取組み始めたところ
です。

柔道を習い始める人々の動
機・目標は様々です。年齢、
性別、性格、体格、体力、運
動能力、生活環境など千差万
別です。そして個々人のニー
ズを満たす指導を施してあげ
なければなりません。そして
この人にはこの指導法、この
人にはこれというように多く
の引出しを持っていないと

なりません。そのために指導
者は日々勉強で、いろいろな
機会を捉えて研鑽を深める必
要があります。フランスの元
サッカー代表・ロジェルメー
ル氏の「我々は学ばなくなっ
たら教えるのもやめなければ
ならない」の言葉は怠けよう
とする気持ちを励まします。
柔道がうまく強くなりたい、
健康になりたい、体力をつけ
たい、友だち（仲間）を見つ
けたい、護身法を身に付けた
い、礼義正しくなりたいなど、
その望む所（目標）へ運んで
あげる馬車（コーチ）の役割
をするのが指導者の任務なの
です。全柔連では柔道指導者
資格制度を立ち上げ、各県な
どで資格養成、資格更新の講
習会を開催して指導力向上に
力を注いでいます。柔道の知
識、基本、技術、練習法など
の他に、安全指導、救急法、
経営学、心理学、生理学、解
剖学、身体運動学などの多く
を学ぶことが出来ます。柔道
を通して「人としてのあり方、
生き方」について教え導くこ
とも人間教育の一方法なのだ
と思いつつ今日も黒帯を締め
道場に立っています。

平成二十六年四月から川中
邦夫氏の後任として中部地区
幹事長に選任され、また県副
会長の重責を負うこととなり
今日まで歩んでまいりました。
県都静岡市を抱える中部地区
は静岡県の中心であり、新幹
線で東京へ一時間という東海
道の要所でもあります。神奈
川県横浜市に生まれ育った私
は、縁あって静岡の地に生活
して五十年になりました。中
学一年生から習い始めた柔道
ですが、始めは高校ぐらいま
でやって止めようかなどと考
えていたのですが、現在も関
わっており近々六十年になろ
うとしています。こんなに長
くやることになろうとは夢に
も思っただけなく、やはり柔道が

第 70 回

国民体育大会柔道競技 報告

第 70 回国民体育大会柔道競技は、平成 27 年 10 月 3 日から和歌山県和歌山市和歌山ビックウエーブ体育館において開催されました。

東海ブロック予選では、成年女子が全勝で出場枠を獲得することができ、成年男子・成年女子と東京大会以来の複数チームの出場となりました。

今回の成年男子は、静岡県警察の単独チームとなり、選手選考会では、今まで国体チームを支えてきた県警の増田・小椋・

真野選手を破り、新旧交代を思わせる若い選手で構成されました。山下諒輔選手は、全国警察大会 81kg 級 2 連覇（平成 26・27 年度）、大木恭介選手は、全国大学選手権 66kg 級で 2 位という実力のある選手を中心にしたチームです。成年女子は、東京大会では堂々の準優勝を達成した金田選手、土屋選手を中心に、チームワークを大切に、5 位入賞を目標に掲げ大会に臨みまし

和歌山国体スタッフ

強化部長	石川裕章	石川接骨院
総監督	古川剛士	静岡県柔道協会
トレーナー	赤池 理	アカイケ鍼灸接骨院
総務	佐野 薫	静岡商業高校教諭
総務	伊藤貴能	浜松湖北高校教諭
総務	磯部拡美	清水桜が丘高校教諭

成年男子

監督	間宮幸男	浜松学院高校教諭
コーチ	根本哲郎	静岡県警察
先鋒 (60kg 級以下)	岡本健吾	静岡県警察
次鋒 (73kg 級以下)	大木恭介	静岡県警察
中堅 (90kg 級以下)	久松達斗	静岡県警察
副将 (90kg 超級)	飯沼元記	静岡県警察
大将 (無差別)	山下諒輔	静岡県警察

成年女子

監督	西川勝啓	裾野高校教諭
コーチ	宮本昌人	常葉学園高校教諭
先鋒 (52kg 級以下)	金田結花	VILLAGE
中堅 (70kg 級以下)	村瀬由樹	静岡県警察
大将 (無差別)	土屋文香	ヤックス

成年男子

静岡県 2・3 福井県

先鋒 岡本健吾 (県警) ○ー山
口嗣也 (大阪体育大学)

両者喧嘩四つの攻防となり、相手の肩車で有効を先取されるも、その後、果敢に攻め、残り時間 30 秒となり、浮技で技ありを取り返すことができた。

次鋒 大木恭介 (県警) ○ー増
田侑矢 (京葉ガス)

共に左組みで、積極的に攻め指導 1、脇より左奥を取り得意の組手になり相手を腰に乗せ、大腰を仕掛け一本となりリードを広げた。

中堅 久松達斗 (県警) ーⓀ近
藤拓也 (京葉ガス)

講道館杯優勝の実力者相手に攻めるも、両者に指導。その後は慎重に試合を進めるも指導を追加され、指導差 2 で敗退する。副将 飯沼元記 (県警) ー○西
村久毅 (敦賀高校教諭)

全日本選手権出場の試合巧者相手に攻め、右組の相四つで技を仕掛けた所を裏投げに返され有効。その後大腰で技ありを取られた。取り返そうと果敢に攻めるも、一瞬の隙を突かれて一本背負いを受け、懸命にこらえたがこらえきれずに一本となつ

た。2 対 2 の同点ながら内容差でリードして大将戦を迎えた。

大将 山下諒輔 (県警) ーⓀ二
谷修平 (福井県警察)

大将戦に全てをかけ、試合場に送り出し息をのみながら勝負の行方を見守っていた。前半は試合展開を意識しながら左組でがっぷりと組み間合いを取ったが、技の練り出しがやや慎重になり、双方に指導が与えられた。後半体格差があり持久戦が展開されたが、ディフェンシブな山下選手に指導 2、残り 30 秒で指導 3 が付き、敗退が決まった。

先鋒・次鋒でリードをし、流れを作ったが、後半僅差の勝負となつてしまいました。相手を圧倒するくらい絶対的力がチームに勝ちを呼び寄せるためには必要かと思われれます。本年度は若いチームで、体力的にも技術的にもこれからまだまだ伸びる要素はあると実感しました。

2 年後には本大会も大きく変わり、成年男子も東海地区予選からの出場となり、国体女子チームの編成も、1 チーム 5 人制となり高校生・社会人合同のチームとなります。したがって、高校生・大学生 (ふるさと登録) 等、若年層を広く取り込み更な

る強化が急務かと思えます。関係各位に感謝申し上げますと共に、平成 28 年岩手国体での活躍を誓い、大会結果の報告とさせていただきます。(文責 浜松学院高等学校教諭 間宮幸男)



成年女子

八月に開催された東海ブロック予選では、成年女子が愛知、三重、岐阜との対戦で失点なしの三戦全勝で二年振りに一位通過し本国体出場を決めました。成年女子の選手は先鋒金田結花 (VILLAGE) 中堅村瀬由

樹(静岡県警察)大将土屋文香

(ヤックス)の三名です。チームワークが良く東海大会を見事突破し、全国大会でも活躍が期待される楽しみなチームでした。

一昨年の国体東京大会(平成25年)の準優勝のメンバーの金田、土屋選手も今回出場しており期待は高まっておりましたが、各ブロック地区を勝ち上がってきた十六チームは強豪ばかりです。一回戦は埼玉県との対戦で、厳しい試合となりました。埼玉はすべて自衛隊の体育学校の選手を揃えています。三選手とも全日本のトップレベルの選手です。

先鋒の金田選手との対戦相手は、十田美里選手です。十田選手とは以前練習した経験があることから慎重になりすぎてしまい、指導を二つ取られ、僅差での敗戦となりました。先鋒としていい流れを作ろうと必死に戦ってくれました。

中堅の村瀬選手の対戦相手は、本県三島市出身の平井希選手です。受けも強く前半は攻めることが出来ずに相手の様子を窺う時間がありました。後半は攻め続けポイントこそ奪えませんが、いい試合をしてくれま

した。

大将の土屋選手の対戦相手は、濱田尚里選手です。先鋒で取られたポイントを取り返そうと攻め続けてくれましたが、取り返せず引き分けとなり静岡県の敗戦が決まりました。試合での実力差はほとんど無く残念な結果となりましたが静岡県代表として一生懸命戦ってくれました。対戦相手の埼玉県は勝ち上がり準優勝しました。来年度第71回国民体育大会柔道競技は、岩手県久慈市で行われます。東海ブロック大会を突破して本大会出場を目指したいと思います。(文責 裾野高校教諭 西川勝啓)



第36回国体 東海ブロック大会

平成27年8月23日(日)三重県名張市

少年男子

- 監督 小柳津敬博(海季付静岡洋校)
コーチ 渡辺直樹(静岡学園高校教諭)
先鋒 芹沢翔哉(静岡学園高校)
次鋒 塚本瑠羽(海季付静岡洋校)
中堅 石岡裕樹(海季付静岡洋校)
副将 米山竜平(海季付静岡洋校)
大将 川井康平(静岡学園高校)
補欠 佐藤威基(海季付静岡洋校)
成年女子
監督 西川勝啓(裾野高校教諭)
コーチ 宮本昌人(常葉学園高校教諭)
先鋒 金田結花(VILLAGE)
中堅 村瀬由樹(静岡県警察)
大将 土屋文香(ヤックス)
少年女子
監督 沼野由香利(藤枝順心高校教諭)
コーチ 宮本昌人(常葉学園高校教諭)
先鋒 鈴木茉莉(藤枝順心高校)
中堅 谷川美歩(藤枝順心高校)
大将 今唯(藤枝順心高校)
補欠 水野瑚春(藤枝順心高校)
補欠 伊藤七海(藤枝順心高校)
成年女子
静岡県2-0三重県
静岡県3-0岐阜県
静岡県2-1愛知県

3勝 1位 静岡県が本大会出場

少年男子 静岡県2-3三重県
静岡県3-0岐阜県
静岡県1-2愛知県

少年女子 静岡県2-1三重県
静岡県2-1岐阜県
静岡県0-3愛知県

2勝1敗 2位 愛知県が本大会出場

第57回 静岡県柔道祭開催

平成27年11月22日(日) 午前9時30分開始 静岡県武道館

今年の静岡県柔道祭は例年と異なり、秋の実施となった。会場は恒例の県武道館で開催された。静岡県柔道協会の野田昭一会長からのあいさつに続き、今年には清水町柔道会の澤崎凛さんにより選手宣誓が行われた。澤崎さんは平成27年度全国小学生学年別柔道大会6年女子45kg超級3位に入賞した選手である。澤崎さんの選手宣誓に続き、恒例の柔道協会表彰が行われ、次の方々が表彰された。

《永年功労賞》 該当者なし

《功労賞》 杉山元彦 七段

古川隆士 六段

橋口 涉 五段

外山幸久 五段

山下朝司 五段

佐野義幸 四段

《優秀指導者賞》 該当者なし

《優秀選手賞》 伊藤七海 女子初段(藤枝順心高校)

平成27年度全国高等学校総合体育大会柔道競技女子78kg級3位

澤崎 凛(清水町柔道会) 平成27年度全国小学生学年別柔道大会6年女子45kg超級3位

山下諒輔 3段(静岡県警察) 平成27年度全国警察柔道選手権大会男子81kg級優勝

大木恭介 3段(静岡県警察) 平成27年度全国警察柔道選手権大会男子66kg級3位

村瀬由樹 女子3段(静岡県警察) 平成27年度全国警察柔道選手権大会女子63kg級2位

《特別功労賞》 該当者なし



谷川美歩 女子初段(藤枝順心高校)
 第37回全国高等学校柔道選手権大会女子57kg級優勝
 (谷川選手は表彰済み)

今年度は表彰に続き「形」の演技が披露された。投げの形は、「取」渡辺銀士(伊豆長岡柔道会)、「受」大矢仁太(伊豆長岡柔道会)、「古式の形」「取」渡辺達也七段、「受」磯部正博八段が務めた。投げの形の2人は全国大会に出場し、古式の形の2人は全国2位の実力者である。見事な形が披露された。その後試合が開始された。毎年のごとではあるが、小学生から一般まで県内の柔道選手が一同に集まる唯一の大会で、観客席から大



きな声での声援が送られ県武道館は大いに盛り上がりつつあった。

第57回静岡県柔道祭成績

小学生の部

- 優勝 清水町柔道会
- 2位 柔好会
- 3位 清水柔道倶楽部

中学男子の部

- 優勝 浜松市立高台中学校
- 2位 浜松市立引佐南部中学校
- 3位 東海大学付属静岡翔洋高校中等部
- 3位 神士館

中学女子の部

- 優勝 藤枝順心中学校
- 2位 浜松市立浜北北部中学校
- 3位 東海大学付属静岡翔洋高校中等部
- 3位 浜松市立積志中学校

高校男子の部

- 優勝 静岡学園高校

- 2位 東海大学付属静岡翔洋高校
- 3位 浜松商業高校
- 3位 加藤学園高校

高校女子の部

- 優勝 東海大学付属静岡翔洋高校
- 2位 藤枝順心高校
- 3位 富士市立高校
- 3位 浜北西高校

一般の部

- 優勝 富士市柔道会
- 2位 高柳喜一商店
- 3位 SC柔道会
- 3位 浜北柔道協会

優秀選手

- 小学生の部 佐々木愛海(清水町柔道会)
- 荒 誠人(柔好会)

中学男子の部

- 伊藤栄都(高台中学校)
- 福田力斗(引佐南部中学校)

中学女子の部

- 米川明穂(藤枝順心中学校)
- 袴田佳名瑚(浜北北部中学校)

高校男子の部

- 池田光洋(静岡学園高校)
- 渋谷恭英(東海大学静岡翔洋高校)

高校女子の部

- 杵淵 萌(東海大学静岡翔洋高校)
- 伊藤七海(藤枝順心高校)

一般の部

- 相楽暢貴(富士市柔道会)
- 坂中慎吾(高柳喜一商店)

各種大会の報告

第35回 静岡県少年柔道団体選手権大会

平成27年2月22日(日) 静岡県武道館

- 優勝 柔好会
- 2位 清水柔道倶楽部
- 3位 伊豆長岡柔道会
- 3位 育誠館道場

形競技大会

平成27年3月7日(土) 静岡市北部体育館

- 固めの形 加藤勝大 長根翔太
- 柔の形 稲川郁子 阿部恭子
- 護身術の形 安竹克好 渡邊武彦
- 五の形 小林賢治 小笠原淳
- 古式の形 渡辺達也 磯部正博

平成27年度全日本柔道選手権大会、第30回皇后杯全日本女子柔道選手権大会東海地区予選

平成27年3月8日(日)

- 男子 滝川英克(静岡県警察) 予選リーグ敗退
- 女子個人 濱松市武道館

- 山下諒輔(静岡県警察) 優勝 全日本選手権大会出場
- 女子 村瀬由樹(国際武道大学) 決勝リーグ3位
- 土屋文香(東海翔洋クラブ) 決勝リーグ4位

第37回 全国高等学校柔道選手権大会

平成27年3月20日(金)21日(土) 日本武道館

- 男子団体 静岡学園高校(1人残し) ○木更津総合高校(千葉) 初戦敗退
- 女子団体 藤枝順心高校0-0(代表戦) ○夙川学院高校(徳島) 初戦敗退
- 男子個人 60kg級 芹沢翔哉(静岡学園高校) 初戦敗退
- 73kg級 塚本瑠羽(東海大学静岡翔洋高校) 3回戦進出
- 81kg級 石岡裕樹(東海大学静岡翔洋高校) 2回戦進出
- 90kg級 鈴木隆聖(加藤学園高校) 初戦敗退
- 無差別級 川井康平(静岡学園高校) 3回戦進出
- 女子個人 52kg級 鈴木茉莉(藤枝順心高校) 5位入賞

57kg級 谷川美歩 (藤枝順心高校) 優勝
 63kg級 今 唯 (藤枝順心高校)
 70kg級 米山綾乃 (富士市立高校) 初戦敗退
 無差別級 伊藤七海 (藤枝順心高校) 初戦敗退
 2回戦進出

全日本柔道選手権大会

平成27年4月29日(水・祝) 日本武道館
 山下諒輔 (静岡県警察) 選手出場
 1回戦
 山下諒輔 (静岡県警察) ○ー法兼真 (愛媛県新田高校教諭)
 2回戦
 山下諒輔 (静岡県警察) 1ー○上田轄麻 (明治大学学生)

第35回全国少年柔道大会

平成27年5月5日(火・祝) 講道館
 団体戦
 1回戦
 柔好会 4ー0高橋道場 (山形県)
 2回戦
 柔好会 0ー2柔心館道場 (鹿児島県)

第62回東海高等学校総合体育大会柔道競技

平成27年6月20日(土)21日(日) 静岡県武道館
 男子団体
 東海大学付属静岡翔洋高校 3位

男子
 60kg級 優勝 芹沢翔哉 (静岡学園高校)
 66kg級 2位 荒井大成 (東海大学静岡翔洋高校)
 73kg級 優勝 塚本瑠羽 (東海大学静岡翔洋高校)
 2位 石神倫哉 (静岡学園高校)
 81kg級 3位 飯川夢二郎 (飛龍高校)
 90kg級 3位 佐々木健友 (東海大学静岡翔洋高校)
 100kg級 3位 米山竜生 (東海大学静岡翔洋高校)
 100kg超級 2位 井川康平 (静岡学園高校)
 48kg級 優勝 鈴木茉莉 (藤枝順心高校)
 52kg級 3位 成宮妃世梨 (藤枝順心高校)
 57kg級 優勝 谷川美歩 (藤枝順心高校)
 63kg級 2位 今 唯 (藤枝順心高校)
 70kg級 3位 安竹真利奈 (東海大学静岡翔洋高校)
 78kg級 2位 伊藤七海 (藤枝順心高校)

78kg超級 3位 上田莉圭 (藤枝順心高校)
 東海地区国立大学体育大会柔道競技
 平成27年6月27日(土) 静岡市北部体育館
 男子団体 3位 静岡大学
 女子個人 2位 大橋知紗 (静岡大学)

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会

平成27年7月4日(土) 静岡県武道館
 男子
 55kg級 秩父良亮 (飛龍高校)
 60kg級 芹沢翔哉 (静岡学園高校)
 66kg級 望月飛翔 (静岡産業大学)
 73kg級 高井稜太 (日本大学三島高校)
 81kg級 石岡裕樹 (東海大学静岡翔洋高校)
 90kg級 鈴木隆聖 (加藤学園高校)
 100kg級 米山竜生 (東海大学静岡翔洋高校)
 100kg超級 川井康平 (静岡学園高校)
 女子
 44kg級 辻村日奈野 (浜松学院高校)
 48kg級 鈴木茉莉 (藤枝順心高校)
 東海大会優勝全国大会出場
 52kg級 日高美春 (藤枝順心高校)
 57kg級 谷川美歩 (藤枝順心高校)
 63kg級 今 唯 (藤枝順心高校)
 70kg級 嘉地唯花 (藤枝順心高校)
 78kg級 伊藤七海 (藤枝順心高校)

平成27年度静岡県成年柔道体重別選手権大会

平成27年7月18日(土) 静岡県武道館
 成年男子
 60kg級 岡本健吾 (静岡県警察)
 73kg級 大木恭介 (静岡県警察)
 90kg級 久松達斗 (静岡県警察)
 無差別級 飯沼元紀 (静岡県警察)
 成年女子
 52kg級 金田結花 (VILLAG)
 70kg級 村瀬由樹 (静岡県警察)
 無差別級 土屋文香 (ヤックス)
 東海地区「形」競技会
 平成27年7月5日(日) 三重県
 投の形 渡部成也 佐藤邦洋
 固の形 東海地区優勝 全国9位
 加藤勝大 長根翔太
 極の形 小椋俊彦 鈴木慎一
 柔の形 稲川郁子 阿倍恭子

第64回全国高等学校柔道大会

平成27年8月8日(土)12日(水) 奈良県 講道館護身術
 男子団体戦 1回戦
 東海大学静岡翔洋高等学校2 1ー1小杉高校 (富山県)
 2回戦
 東海大学静岡翔洋高等学校0 1ー4作陽高校 (岡山県)
 女子団体戦 1回戦
 藤枝順心高等学校1ー2淑徳学園高等学校 (兵庫県)
 男子
 60kg級 芹沢翔哉 (静岡学園高校) 3回戦進出
 66kg級 荒井大成 (東海大学静岡翔洋高校) 5位入賞
 73kg級 塚本瑠羽 (東海大学静岡翔洋高校) 3回戦進出
 81kg級 飯川夢二郎 (飛龍高校) 2回戦進出
 90kg級 佐々木健友 (東海大学静岡翔洋高校) 初戦敗退
 100kg級 米山竜生 (東海大学静岡翔洋高校) 2回戦進出

100 kg 超級	川井康平 (静岡学園高校)	初戦敗退
女子		
48 kg 級	鈴木茉莉 (藤枝順心高校)	初戦敗退
52 kg 級	成宮妃世梨 (藤枝順心高校)	3 回戦進出
57 kg 級	谷川美歩 (藤枝順心高校)	5 位入賞
63 kg 級	今 唯 (藤枝順心高校)	初戦敗退
70 kg 級	安竹真利奈 (東海大学静岡翔洋校)	初戦敗退
78 kg 級	伊藤七海 (藤枝順心高校)	3 位入賞
78 kg 超級	上田莉圭 (藤枝順心高校)	初戦敗退

※各階級県大会優勝者、優勝チームが全国大会に出場している。

**平成27年度東海中学校
総合体育大会柔道競技**

平成27年8月9日(日)10日(月)

三重県

男子団体

3 位 東海大学静岡翔洋高校中等部
2 位 浜松市立浜北北部中学校
女子団体

3 位 東海大学静岡翔洋高校中等部

男子

50 kg 級

3 位 山田空河 (浜松市立中郡中学校)

55 kg 級

3 位 石川聖人 (静岡学園中学校)

60 kg 級	菊池 魁 (日大三島中学校)	3 位
66 kg 級	伊藤栄都 (浜松市立高倉中学校)	2 位
81 kg 級	依田絃希 (日大三島中学校)	3 位
90 kg 級	酒井颯介 (浜松市立横志中学校)	3 位
女子		
40 kg 級	大石紋萌 (静岡市立観山中学校)	2 位
44 kg 級	小林美咲 (沼津市立沼津中学校)	3 位
48 kg 級	松野愛瑠 (浜松市立浜北北部中学校)	3 位
52 kg 級	袴田佳名瑚 (浜松市立浜北北部中学校)	3 位
57 kg 級	袴田芽久望 (浜松市立浜北北部中学校)	3 位
63 kg 級	岩井柚里香 (東海大学静岡翔洋校中等部)	3 位
70 kg 級	澤崎莉子 (東海大学静岡翔洋校中等部)	優勝
70 kg 超級	米川明穂 (藤枝順心中学校)	優勝
2 位	楠 明日香 (伊豆の国市立長岡中学校)	

第40回全国教員大会

平成27年8月1日(土)

講道館

監督 藤田明啓 (県立浜松北高校)

先鋒 鈴木壯太 (県立御殿場高校)

次鋒 川端常弘 (県立湖西高校)

中堅 井口往彦 (県立浜北西南高校)

副将 杉原正洋 (松浜学院中学校)

大将 土屋彰裕 (蒲西市立鷺津中学校)	1 回戦
シード	2 回戦
静岡県 3-1 栃木県	3 回戦
静岡県 0-1 長崎県	

監督が新居高校の中原先生から再び浜松北高校の藤田先生に代わり、新しいメンバーを加え全国大会に出場しました。初戦は先鋒から3人が勝利し、チームの勝利を決めました。3回戦も前半は引き分けが続きましたが、後半2人で力尽きました。各先生方がこの大会で得ることができた貴重な経験を、勤務される学校での指導に役立てていただければと思います。

第46回全国定時制通信制柔道大会

平成27年8月2日(日)

講道館

男子団体戦

1 回戦 静岡県 5-0 石川県

2 回戦 静岡県 3-1 大阪府

3 回戦 静岡県 0-5 神奈川県

ベスト8 進出

女子団体戦

1 回戦 シード

2 回戦 静岡県 1-2 福岡県

男子個人戦	65 kg 級 大川裕生 (三島長陵高校)	2 回戦進出
75 kg 級	根岸大智 (小山高校)	初戦敗退
75 kg 超級	山口未来 (倉橋学園高校)	3 回戦進出 (ベスト8)
女子個人戦		
52 kg 級	瀧本光咲 (ラック国際校浜校)	初戦敗退
63 kg 級	川津サユリ (富士高校)	初戦敗退

第46回全国中学校柔道大会

平成27年8月17日(月)~20日(木)

北海道函館市

男子団体戦

東海大学付属静岡翔洋高校中等部 1-2 曾根中学校 (福岡県)

東海大学付属静岡翔洋高校中等部 4-1 村山榎岡中学校 (山形県)

予選リーグ敗退

女子団体戦

東海大学付属静岡翔洋高校中等部 2-0 花巻大迫中学校 (岩手県)

東海大学付属静岡翔洋高校中等部 2-0 足利第一中学校 (宮城県)

決勝トーナメント

1 回戦 東海大学付属静岡翔洋高校中等部 1-2 広陵中学校 (奈良県)

個人戦	男子	50 kg 級	石川俊介 (函南中学校)	2 回戦進出
55 kg 級	石川聖人 (静岡学園中学校)	初戦敗退		
60 kg 級	井出海輝 (大洲中学校)	2 回戦進出		
66 kg 級	村松孝紀 (東海大学静岡翔洋校)	初戦敗退		
73 kg 級	水野円中 (高台中学校)	2 回戦進出		
81 kg 級	飯田空翔 (高台中学校)	5 位入賞		
90 kg 級	熊谷健太 (岩松中学校)	2 回戦進出		
90 kg 超級	下橋颯斗 (鷹岡中学校)	3 回戦進出		
女子				
40 kg 級	大石紋萌 (観山中学校)	初戦敗退		
44 kg 級	小林美咲 (藤枝順心中学校)	初戦敗退		
48 kg 級	松野愛瑠 (浜北中部中学校)	初戦敗退		
52 kg 級	袴田佳名瑚 (浜北中部中学校)	3 回戦進出		
57 kg 級	袴田芽久望 (浜北中部中学校)	初戦敗退		
63 kg 級	岩井柚里香 (東海大学静岡翔洋校)	2 回戦進出		
70 kg 級	山本 杏 (沼津市立高倉中等部)	3 回戦進出		
70 kg 超級	米川明穂 (藤枝順心中学校)	5 位入賞		

各階級県大会優勝者が全国大会に出場している。

第12回全国小学生学年別柔道大会

平成27年8月30日(日)

山梨県甲府市

男子5年

小林勇斗(柔好会)

3回戦進出

45kg超級

渡邊琉雅(正心塾 渡邊道場)

男子6年

渡邊爽偉(清水町柔道会)

50kg超級

佐々木里旺(清水柔道俱樂部)

女子5年

辻本栞穂(田代道場)

40kg超級

飯田星那(和道場)

6年

杉山月琉(清水町柔道会)

45kg超級

澤崎 凜(清水町柔道会)

45kg超級

澤崎 凜(清水町柔道会)

50kg超級

佐々木里旺(清水柔道俱樂部)

女子5年

辻本栞穂(田代道場)

40kg超級

飯田星那(和道場)

6年

杉山月琉(清水町柔道会)

45kg超級

澤崎 凜(清水町柔道会)

45kg超級

澤崎 凜(清水町柔道会)

定通制柔道東海大会

平成27年9月6日(日)

浜松市武道館

5月24日に実施された県大会の各階級優勝者が全国大会に出場している。

男子団体戦

三島長陵高校 優勝

島田商業高校 3位

男子個人

大川裕生(三島長陵高校)

初戦敗退

川上ヒロシ(浜松大平台高校)

初戦敗退

根岸大智(小山高校)

優勝

森 健児(鹿島学園高校浜松)

2位

戸田 初(浜松工業)

初戦敗退

山口未来(鳥籠学園キョウ高)

初戦敗退

女子個人

川津サユリ(富士高校)

棄権

全国警察柔道選手権大会

平成27年9月11日(金)

日本武道館

男子66kg級

第3位 大木恭介

男子90kg級

優勝 山下諒輔

講道館杯全日本柔道体重別選手権大会に出場

女子63kg級

準優勝 村瀬由樹

第4回静岡岡県小学生学年別柔道選手権大会

平成27年9月23日(水・祝)

静岡県武道館

4年生男子軽量級

宇佐美 颯(富士共栄道場)

4年生男子重量級

杉山彪馬(清水町柔道会)

4年生女子軽量級

川合 凜(伊豆長岡柔道会)

4年生女子重量級

里見奏来(清水町柔道会)

5年生男子軽量級

小林勇斗(柔好会)

5年生男子重量級

岡本剛道(伊豆長岡柔道会)

5年生女子軽量級

辻本栞穂(田代道場)

5年生女子重量級

飯田星那(和道場)

6年生男子軽量級

小山仁志(清水柔道俱樂部)

6年生男子中量級

柴田嶺音(清水柔道俱樂部)

6年生男子重量級

佐々木里旺(清水柔道俱樂部)

6年生女子軽量級

片桐明日美(育誠館道場)

6年生女子中量級

山中美里(大仁柔道会)

6年生女子重量級

澤崎 凜(清水町柔道会)

第32回静岡岡県大学高専柔道秋季優勝大会

平成27年10月11日(日)

静岡産業大学

団体の部

優勝 静岡産業大学A

2位 静岡産業大学B

3位 東海大学海洋学部

男子個人戦の部

無段の部

優勝 鈴木健吾(静岡産業大学)

66kg級

優勝 小池康太(静岡産業大学)

81kg級

優勝 早坂大志(静岡産業大学)

81kg超級

優勝 日高嘉栄(静岡産業大学)

女子の部

優勝 岩崎 唯(静岡産業大学)

全国警察柔道大会

平成27年10月14日(水)

日本武道館

団体第3部

第3位 静岡県警察

講道館杯全日本体重別選手権

平成27年11月7日(土)8日(日)

千葉県

男子90kg級

山下諒輔(静岡県警察)

2回戦進出

男子66kg級

大木恭介(静岡県警察)

女子63kg級

村瀬由樹(静岡県警察)

2回戦進出

静岡県高等学校秋季定通制体育大会柔道競技

平成27年11月15日(日)

沼津市立沼津高校

男子団体

優勝 浜松大平台高校

2位 富士高校

3位 三島長陵高校

3位 浜松工業高校

男子個人

優勝 川上ヒロシ(浜松大平台高校)

軽量級

優勝 根岸大智(小山高校)

中量級

優勝 鈴木隆太(浜松大平台高校)

重量級

優勝 鈴木隆太(浜松大平台高校)

女子個人

優勝 外山染季(クラーク浜松校)

第38回全国高等学校柔道選手権大会

静岡県予選大会(男女個人戦)

個人戦

平成28年1月16日(土)

静岡県武道館

男子60kg級

優勝 岡本龍司(静岡学園高校)

- 男子 66 kg 級 優勝 長屋 涼 (加藤学園高校)
- 男子 73 kg 級 優勝 澁谷恭平 (東海大静岡翔洋高校)
- 男子 81 kg 級 優勝 石川紘大 (加藤学園高校)
- 男子無差別級 優勝 川井康平 (静岡学園高校)
- 女子 48 kg 級 優勝 安食亜美 (藤枝順心高校)
- 女子 52 kg 級 優勝 竹内智紗子 (浜北西高校)
- 女子 57 kg 級 優勝 金本 唯 (藤枝順心高校)
- 女子 63 kg 級 優勝 杵渕 萌 (東海大静岡翔洋高校)
- 女子無差別級 優勝 伊藤七海 (藤枝順心高校)
- 団体戦 平成 28 年 1 月 24 日 (日) 静岡県武道館
- 男子 優勝 静岡学園高校
- 女子 優勝 藤枝順心高校

以上の選手・学校は全国大会に出場する。大会日時は男女個人戦平成 28 年 3 月 19 日 (土) 男女団体戦 3 月 20 日 (日) 会場は日本武道館です。

柔道普及活動

西部地区

第 5 回めばえの親子柔道教室

今年度の西部地区の親子柔道教室は 11 月 8 日 (日) 午後 1 時から午後 3 時 30 分に浜松市武道館で実施されました。講師は溝口紀子先生 (静岡文化芸術大学准教授・バルセロナオリンピックメダリスト)。今回は住友海上柔道部特別コーチの恵本裕子先生 (アトランタオリンピックメダリスト) も特別に参加していただきました。

最初に開会式が行なわれ、溝口講師の挨拶があり、昨年の体操競技に続き今回は丁度世界選手権での日本チームの活躍で注目が集まるラグビーの練習を取り入れた準備体操になりました。



ヤマハ発動機「ジュビロ」のスタッフが指導してくれ貴重な体験ができました。



休憩を挟んだ後半では、恵本先生の大内刈り、地元静岡の通場先生の体落としという各講師の得意技を指導していただきました。

参加した 200 人強の親子と普段道場で指導している指導者も良い汗をかきました。また、



ラグビーの練習も新しい刺激になったことと思います。

中部地区

親子柔道教室

平成 27 年 11 月 29 日 (日) 10 時 ~ 11 時 45 分 静岡市北部体育館 柔道場

中部地区の親子柔道教室は地区の女性部を中心に実施されました。指導員として田中秀幸幹事長他多くの地区の役員が参加し、総参加人数 142 名 (前年 129) でした。

担当者や参加者の感想としては、次のようなものがでていました。

- (1) 育児中の女性柔道経験者の参加が多かった為、幼児の参加者が多かった。
- (2) 女性経験者の同窓会的なイベントになり、スリープしている女性指導員の現場復帰のきっかけになれば望ましい。
- (3) 女性指導員 (スタッフ) が親子でのプログラムを実施する際、フォロワーに入り優しく対応してくれてよかった。(参加者より)
- (4) 今回は、女性指導員が指導にあたり、男性指導員は

- フォロワー役に徹したため、全体的にのどかで、優しい雰囲気の家室だった。(参加者より)
- (5) 楽しいプログラムだった。来年も参加したい。(参加者より)

地区の田中幹事長は次のように所感を述べている。「平成 26 年度に中部地区で立ち上げた女子部会 (代表・後藤奈美) が、1 年かけて実施内容を綿密に検討し、意見を述べあつて作成した。また、各方面へ積極的に呼びかけをして 100 名を超える参加者があり、親子とも和氣藹々のうちにスケジュールが進んだ。リズム体操、親子組みでバランス体操、休憩を挟んで礼法 (立礼・座礼) や基礎基本などについて学んだ。内容が、バラエティに富んでいたのが児童も父兄も興味をもって参加していたのが印象的であった。」

東部地区

今年度も例年のようにエアロビ柔道が沼津市立沼津高校柔道場で開催されました。

今年度さらに東部地区で実施された新しい試み (みんなで柔道 2015 静岡東部大会) を P12 で紹介します。

新人選手紹介コーナー

今年度もこのコーナーを継続することができた。全国大会で3位までに入賞した若い選手（高校生以下の選手）を紹介しているコーナーで、今年度は4名の選手が該当した。昨年の9名には及ばないがよく頑張ってくれました。



澤崎 凜さん
(清水町柔道会)

平成27年度全国小学生学年別柔道大会6年女子45kg超級3位

澤崎さんは昨年全国大会で優勝し、このコーナーで紹介しています。順調に成長し今年度も紹介することができました。

澤崎さんが柔道を始めたきっかけは、昨年も紹介したように「父と姉の影響」ということです。

今回の結果については、「二連覇を目標にしていただけに悔しい思いをしました。次は中学で日本一を目指したいと思います。」と非常に前向きです。残念ながら二連覇はなりませんでしたが、全国三位は素晴らしい結果だと思います。

昨年も書いてくれましたが、将来の夢は「2020年東京オリンピック優勝」とはっきりしています。

指導者からは「全国大会二年連続で入賞できたことは非常に素晴らしいと思います。目標を達成することは出来ませんでした。非常に努力ができる子なので、次のステージでの活躍に期待したいと思います。」とエールを贈られています。



杉山 月琉さん
(清水町柔道会)

平成27年度全国小学生学年別柔道大会6年女子45kg級3位

杉山さんが柔道を始めたきっかけは「父と母と姉が柔道をやってきたから。」ということ。まさに柔道一家ということになります。

今回の入賞に関しては「去年は全国大会に出場できたけれど、二回戦で負けてしまいました。だから、今年三位に入賞できたことはとてもうれしいです。でも、まだまだ課題がありました。この結果に満足せず、中学では日本一になれるように日々努力していきたいです。」着実に成長しています。

今後の目標としては「2020年東京オリンピック優勝」と大きな夢を持っています。

指導者からは「今回の結果に満足せず、次のステージでは今回以上の成績を残せるよう日々努力をして欲しい。」と期待を寄せられています。

着実に進歩している杉山さんですから中学ではさらに素晴らしい結果を残してくれることを期待したいと思います。



伊藤 七海さん
女子初段 (藤枝順心高校)

平成27年度全国高等学校柔道大会女子78kg級3位

伊藤さんが柔道を始めたきっかけは「何気なく道場を見学に行っていた時、回転運動がやりたいと思ったから」ということ。だそうでなかなか面白いきっかけです。

今回の結果については次のように語っています。「初めてのインターハイで、一戦一戦落ち着いて試合ができてよかったです。今回の結果は自信になりました。でも、まだまだ日本一になるためには課題もたくさん残っている。今後は一つ一つ克服していきたい。」伊藤さんの人柄が伝わってくるようなコメントです。

今後の目標は「日本一になる」ということ。だそうで、期待したいと思います。

顧問の沼野先生は「素直な性格で柔道が好きだという気持ちが出た結果にもつながったのだと思います。この結果に満足せず努力できる選手になってほしいです。」と伊藤選手に期待を込めています。

伊藤さんの今後の活躍を期待しています。



谷川 美歩さん
女子初段 (藤枝順心高校)

第37回全国高等学校柔道選手権大会女子57kg級優勝

谷川さんはこのコーナーの常連です。今年もしっかりと実績を残してくれました。ロシアアジア国際大会でも女子57kg級で準優勝しています。

優勝したことに関する感想は「昨年のインターハイで優勝した時よりも「日本一」になったんだという実感が大きかった。同時に、たくさんの人の支えがあったの優勝だと改めて感謝の気持ちが生まれました。」と述べており、周囲への心使いが感じられるコメントです。

今後の希望は「大学へ行き、たくさんの事を学びたい。もっと知識を得て体力も付けて柔道も人間性も成長させたい。一つ一つの事をしっかりとやって結果を出したい。」と更なる成長を期待されています。

顧問の沼野先生からは「指導者になり21年目ですが、今まで指導してきた選手の中で一番の努力家です。彼女の日々の柔道に対する姿勢を見て、努力とはこのようなどんなのかということ。を私自身も学ばされました。大学へ進学し、自分の目標に向かってさらに頑張ってくれることを期待しています。」と最大の賛辞を贈られています。

と最大の賛辞を贈られています。

道場紹介

しずおか

しずおか

県内各地でがんばっている「道場」

を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

友愛道場

- ②沼津市東原50-7
- ③〒410-0303
沼津市西椎路164-1
ゆうあいクリニック
055-969-2777
- ④佐野義幸
- ⑤児童12人、小学生21人、
中学生11人、
大学・社会人7人

⑥道場紹介

日頃は合同稽古や試合等、誠にお世話になっております。沼津の友愛道場です。

昭和49年、沼津市西部の愛鷹地区に故久保正太郎師範が友愛道場を立ち上げました。「柔道は日本文化の継承の場、人間教育の場である」という信念のもと、稽古のみならずボランテイア活動や犬棒カルタ、百人一首、作文、演劇等にもかなりの時間を割いており、これが現在も続く当道場の大きな特色になっています。

練習は毎週、月・水・金曜日の午後6時から8時半、佐野義幸師範を中心に30名ほどが汗を流しています。最近では「少子高齢化・女性の社会進出」の波



が道場にも押し寄せております。小学生児童の減少に頭を悩ませる一方で、「黒帯お母さん」の人数は増加しており、団体戦も3チーム組める勢いがあります。これも新しい特色になるかもしれません。今後とも友愛道場をよろしくお願ひします。

⑥道場紹介

富士市柔道会

- ②〒417-0041 吉原道場
富士市御幸町8-1
- 〒416-0801 富士道場
富士市本市場280
- ③〒417-0801
富士市大淵405-25
電話 090-2189-5122
- ④小笠原 淳
- ⑤児童2人、小学生25人、
中学生8人、高校生3人、
大学・社会人32人



昭和3年に接骨院と道場を開設した吉野幾太郎4段が青少年を集めて指導したのが始まりです。昭和22年頃吉原町の精致館を借り受け稽古を始めたのが吉原柔道倶楽部の発足の基となりました。その後、昭和26年に富士市本市場において30畳敷きの道

⑥道場紹介

藤枝柔道倶楽部

- ②藤枝市武道館
〒426-0034
藤枝市駅前3-21-1
- ③〒426-0061
藤枝市田沼1-1-15-903
054-637-3933
- ④水嶋武雄
- ⑤児童4名、小学生30名、
中学生12名、高校生4
名、社会人15名

場が建設されました。これが富士柔道会の発足の礎であります。また、昭和44年、それまで別々に活動していた吉原柔道倶楽部と富士柔道会が合併の運びとなり、新たに『富士市柔道会』と改名し、会長に中村新吾氏が就任し、吉原・富士道場が別々なため、吉原道場に高田徹(現7段)富士道場に風岡儀一(現7段)を配し指導にあたりました。現在は、吉原道場が月・水・金で富士道場が火・木・土の午後6時半から9時まで小・中・高校生や実業団を含めた一般の選手が稽古を重ね、盛んに汗を流しています。

藤枝柔道倶楽部は、昨年創設60周年を迎えた歴史ある倶楽部です。



水嶋武雄会長を中心に、幼稚園から一般まで約60名が集い、週3日(火・木・土)藤枝市武道館にて稽古に励んでいます。また、月に1度、近隣の国士塾や柔好会と合同練習を開催しており、互いに切磋琢磨し競技力向上にも努めています。

今年度は、鈴木英彦副会長の人脈で、フランスのルール柔道クラブの16名も来藤し、柔道を通じて友好関係を深めました。今後も「礼節」を一番に重んじ、中学、高校、大学、社会人と柔道が続ける選手が一人でも多く育つよう指導していきたいと思ひます。



⑥道場紹介
 永年、掛川城下町に育まれた「尚武の精神」で、昭和14年に地域の柔道愛好家たちが集まり、掛川警察署道場にて故渡辺富士松先生を中心として『掛川尚武

掛川柔道倶楽部錬誠館
 ②〒436-0341 掛川市倉真565-3
 ③〒436-0079 掛川市掛川1035-6 0537-24-3777
 ④中村芳正
 ⑤児童2人、小学生17人、中学生3人、高校生4人、大学・社会人17人

⑥道場紹介
 昭和52年に旧大井川町立大井川中学校（現焼津市立大井川中学校）の柔道場を借り、現団長等柔道経験者が中心となりスポーツ少年団を立ち上げました。旧焼津市には以前から小学生対象の道場がありましたが、旧大井川町にもすそ野を広げるべく御尽力いただきました。
 当時の大井川中学校の道場はプレハブ建てでしたが、現在では旧大井川地区の立派な大井川体育館2階柔道場を練習場所と

大井川柔道スポーツ少年団
 ②焼津市中島1183 大井川体育館
 ③〒421-0216 焼津市相川476-1 054-622-4176
 ④石田明志
 ⑤児童2人、小学生7人、中学生0人、高校生1人、社会人10人

してきます。練習は火曜日と金曜日の週2回、午後7時より9時まで小学生を中心に指導、稽古しております。
 当団では礼儀と怪我をしない・させない為の基本である、受け身・動作を重点的に指導しています。特に小学生低学年以下では集中力も持続せず大変ですが根気強く、時には厳しく時には楽しくと変化に富んだ活動を心がけています。
 少子化の影響か、団員数も十名前後と少人数ではありますが、卒団生は上級学校でも優秀な成績を取っております。指導対象としては幼児から大人まで年齢問わず大歓迎です。実際に高校生、大人と一緒に稽古しておりますので興味のある方は一度見学にいらしてください。

「立ってよし、寝てよし」の柔道を目指して練習を続けています。興味のある方はぜひ見学に来てください。

嘉納治五郎師範の柔道精神を基に、「心・技・体」の鍛錬を念頭に、児童から高齢者まで熱心に練習しています。柔道を通じて、礼儀作法、人を思いや

もありません。普及の練習は、少子化の影響もありなかなか部員が集まらない昨今ですが、小学生・中学生・高校生・社会人週3回、火曜日・木曜日・土曜日の午後7時から9時（小学生）、中学生以上は午後9時30分まで稽古をしています。

「武興」のカウンター奥には道場につながる扉があります。毎週火曜日と土曜日の2回、午後6時を過ぎると子供たちの元気な挨拶と笑い声が聞こえます。午後7時に稽古が始まるまでは、掃き掃除さえ済ませてしまえば、たくさんボールやフライングディスクで遊んで構わないのです。
 午後7時になるとリーダーの号令で「遊びの時間」が終了し稽古が始まります。柔道特有のウォーミングアップに始まり、腕立て伏せや腹筋・馬跳びくぐりなどの補強運動や、道場に備えてあるロープ登り、体幹トレーニングなどを行い、小学生も中学生も、前半の1時間

「勝ち負けよりも一生懸命」が私たちの道場の指導方針です。稽古の最後は道場の掃除です。雑巾で畳をピカピカに拭いて終わります。おかげで10年以上使っていると思えないほどきれいな道場です。道場出入り時の挨拶や練習中の礼法は、間違ったり元気が無かったりすると何回でもやり直しをさせます。清掃も挨拶も、道場・稽古相手への感謝の気持ちの表れと考えているからです。
 『柔道は人間道』これが私どもの道場のモットーです。



「勝ち負けよりも一生懸命」が私たちの道場の指導方針です。稽古の最後は道場の掃除です。雑巾で畳をピカピカに拭いて終わります。おかげで10年以上使っていると思えないほどきれいな道場です。道場出入り時の挨拶や練習中の礼法は、間違ったり元気が無かったりすると何回でもやり直しをさせます。清掃も挨拶も、道場・稽古相手への感謝の気持ちの表れと

「勝ち負けよりも一生懸命」が私たちの道場の指導方針です。稽古の最後は道場の掃除です。雑巾で畳をピカピカに拭いて終わります。おかげで10年以上使っていると思えないほどきれいな道場です。道場出入り時の挨拶や練習中の礼法は、間違ったり元気が無かったりすると何回でもやり直しをさせます。清掃も挨拶も、道場・稽古相手への感謝の気持ちの表れと

いつばいの汗をかきます。後半は柔道の時間になります。打ち込み、乱取り、投げ込み、技の研究など、この時間は真剣な表情に変わり、受けも取りも大きな掛け声で気合を込めます。「勝ち負けよりも一生懸命」が私たちの道場の指導方針です。稽古の最後は道場の掃除です。雑巾で畳をピカピカに拭いて終わります。おかげで10年以上使っていると思えないほどきれいな道場です。道場出入り時の挨拶や練習中の礼法は、間違ったり元気が無かったりすると何回でもやり直しをさせます。清掃も挨拶も、道場・稽古相手への感謝の気持ちの表れと

いつばいの汗をかきます。後半は柔道の時間になります。打ち込み、乱取り、投げ込み、技の研究など、この時間は真剣な表情に変わり、受けも取りも大きな掛け声で気合を込めます。「勝ち負けよりも一生懸命」が私たちの道場の指導方針です。稽古の最後は道場の掃除です。雑巾で畳をピカピカに拭いて終わります。おかげで10年以上使っていると思えないほどきれいな道場です。道場出入り時の挨拶や練習中の礼法は、間違ったり元気が無かったりすると何回でもやり直しをさせます。清掃も挨拶も、道場・稽古相手への感謝の気持ちの表れと

養神館植松道場
 ②浜松市東区植松町1472-4 武興浜松店内
 ③〒430-0803 浜松市東区植松町1472-4 武興浜松店内 053-464-1011(武興)日祝定休
 ④大畑三津子
 ⑤児童0人、小学生14人、中学生4人、大学・社会人2人



みんなで柔道2015 静岡東部大会開催

参加者は125名(女性87名、男性28名、最高齢者女性77歳、最年少者女子2歳)でした。

「家族や友達と一緒に柔道を楽しもう!!」を合言葉に、11月3日(火)文化の日に市立沼津高校柔道場で開催されました。内容は、体験プログラムとして、「エアロビ柔道」と「護身術」、参加プログラムとして「礼法と受け身のコンテスト」と「レディース柔道大会」が実施されました。大会当日は親子3代での参加も多く、楽しい時間を過ごすことができました。それぞれ簡単に紹介します。



永年東部地区で行われている「エアロビ柔道」です。小林準一先生が指導され、約30分間楽しく汗をかくことができました。

1 エアロビ柔道

2 礼法と受け身コンテスト

立礼、座礼、後方受け身、演技構成の4項目を実施していた。3人の審査員によって採点し評価をしました。

3 レディース柔道大会

試合時間2分、引き分けの場合はジャンケンで勝敗を決めることとして実施しました。初心者コース、経験者コース、昔経験者コースの3つのコースに分けて行い、参加人数は多くはありませんでしたが、元気に取り組みました。

4 護身術教室

東海柔道連合会会長の高田勝之先生の御指導で、講道館護身術の一部と、現実起こりうる場面を想定しての身の守り方を学びました。高田先生からは「危ない場面は先ず逃げる」という心構えが大切だということをお伝えられ実践的な動きを学びました。

なお、当日は託児所キッズルーム『遊笑(ゆうしょう)』を開設しました。ボランティアで、3名の保育士が18名のお世話をしてくれました。家族や所属道場・学校の友人と楽しむことを最優先にした柔道普及の試みで、大会委員長の高田和夫

根木谷先生は「母親が参加しやすくなるよう託児所を開設した世界初の大会である」と評価されています。



討 報



殿岡崇廉 六段

富士市柔道会会長、殿岡崇廉六段は、平成二十七年十二月三日、享年六十三歳をもって御逝去されました。ここに謹んで御報告申し上げます、先生の御冥福をお祈り申し上げます。

殿岡先生は、元吉原中学入学と同時に柔道部に入部、その恵まれた体格から繰り出す払い腰を武器に、めきめきと頭角を現し、各種大会で活躍。鳴り物入りで日大三島高校に入学。日大三島高校でもレギュラーとして各種大会で活躍されました。その後、家業を継ぐべく日大生産工学部に進学し、学部の柔道部に所属しました。

卒業と同時に富士市柔道会に入会。理事、理事長を経て平成十一年より会長に就任、その重責を果たしてきました。また、東部地区理事・県理事・柔道場連盟副会長など各団体の重鎮として静岡県の柔道界を支えてきたことは、周知の通りです。

先生は、温厚な性格で誰からも好意と信望を集めておられました。このような多くの方々から慕われた先生の柔道を愛する御意志を大切にし、これからも柔道発展のための努力をお誓いし、もう一度御冥福をお祈り申し上げます。

(東部地区幹事長

高田 和夫

合掌



編 集 後 記

今年も「柔道しずおか(第19号)」を発行することができました。感想などを聞かせていただきたいと思います。

今年度は久しぶりに成年女子チームが国体の本大会に出場することができ、東京大会の再現を期待しましたが残念な結果でした。成年男子チームも惜しい試合でした。少年男子・女子チームの本大会出場とともに、次の岩手大会での活躍を期待しましょう。

野田体制に移行して2年目に入り、落ち着いた一年だったと思います。新しい体制がスタートし、多方面で機構改革を行っており、各分野でその成果が出ていることと思います。

東部地区の柔道普及に関する新しい試みを紹介しました。従来から実施している「エアロビ柔道」を中心に試合や護身術、受け身のコンテストなどにチャレンジしています。素晴らしいことだと思います。中部地区、西部地区もそれぞれの取り組みを続けています。柔道普及に役立ってくれることを期待します。

柔道しずおか編集担当

宮崎貞夫